



東日本大震災 9 周年シンポジウム

|| 主 催 || 東北大学災害科学国際研究所



2020 年 3 月 8 日 (日)

13:00 ~ 15:45

東北大学災害科学国際研究所

<多目的ホール>

FREE
要事前申込

令和時代の 災害に備える

災害が多発している今の時代に、
大学や研究者がどう立ち向かおうとしているのか

災害大国・日本は、災害の経験

と教訓から学び、防災の様々な対策や知恵

を生み出してきました。しかし一層の高齢化、過疎化・

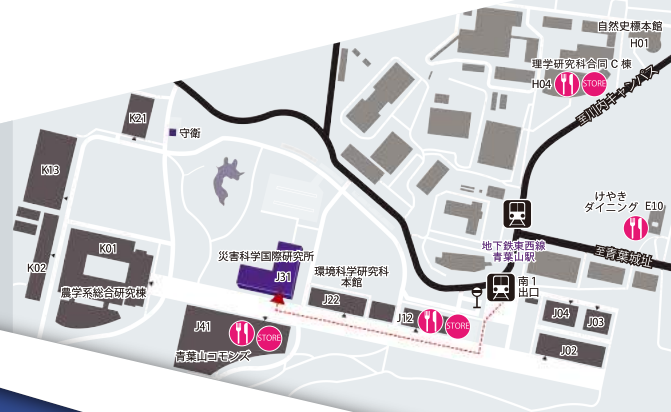
東京一極集中、国際化など社会は変化を続け、一方で自然災害の

激甚化も指摘されています。東日本大震災から 9 年、令和の時代に入り、

期待と不安が交錯する新時代に向けて、文理融合研究を進める研究所で、最前線の

防災の現状と課題・解決策を議論します。

▶▶ 地下鉄東西線
青葉山駅下車
南 1 出口から徒歩 3 分



13:00 開会の挨拶

東北大学 災害科学国際研究所 所長 今村 文彦



13:10

司会：井内 加奈子 准教授

1 「令和時代の「公・共・私」ー「近代150年」からみるこれからの災害への向き合い方ー

川内 淳史 准教授

(人間・社会対応研究部門 /
歴史資料保存研究分野)



出典：『宮城県昭和震害誌』（宮城県、1935年）

2 「令和の時代の待ったなしの
防災官民連携強化と学の役割」

丸谷 浩明 教授

(人間・社会対応研究部門 /
防災社会システム研究分野)



3 「災害医療の変遷ー令和時代の新しい災害医療ー」

栗山 進一 教授

(災害医学研究部門 / 災害公衆衛生学分野)

佐々木 宏之 准教授

(同上 / 災害医療国際協力学分野)

稲葉 洋平 助教

(同上 / 災害放射線医学分野)

児玉 栄一 教授

(同上 / 災害感染症学分野)



14:30

休憩

14:45

4 「包括的な災害リスクのプロアクティブアラートに
基づくインクルーシブ防災の実現」

小野 裕一 教授 (情報管理・社会連携研究部門 / 社会連携オフィス)

橋本 尚志 氏 (株式会社富士通総研 / 行政情報化グループ)

災害伝承・防災教育・
包括的リスクアセスメント

×

ピンポイントアラート

×

防災科学リビングラボ

個人の適切な判断・必要時の
避難行動を促す体制と
仕組みを構築し、
インクルーシブ防災の
実現を目指します

15:25 総合討論

モデレーター：福島 洋 准教授

15:40 閉会の挨拶

東北大学 災害科学国際研究所 教授 児玉 栄一 (シンポジウム WG 長)

参加申し込み方法

お名前 (ふりがな) / ご所属 /
ご連絡先電話番号をお書きの
上、右記のいずれかの方法で
お申し込みください。

■ tel 022 - 752 - 2049
■ fax 022 - 752 - 2013 ※広報室宛と明記ください。
■ e-mail sympo2020@irides.tohoku.ac.jp
■ はがき 〒980-8572 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1-S301
東北大学災害科学国際研究所 広報室 宛

※参加申込が定員に達しましたら、申込を終了とさせていただきます。
※プログラムは一部変更になる場合がございます。予めご了承ください。
※駐車場はご利用いただけません。
公共交通機関をご利用ください。



web